

今までの取り組み・これからの課題

協働のまちづくり



☎ 市民活動推進課 ☎ (93) 1117

総括

新たな委員で構成された富里市協働のまちづくり推進委員会は、後期推進計画の最終期にあたり、次期推進計画の策定を念頭に検討しました。日本の社会は、高齢化の進行と定年制の延長など、働き方も変化しつつ大きく変わろうとしています。

昨年、千葉県を襲った二度にわたる台風では、早い行政の対応と職員ひとり一人の献身的な努力により、日常生活への影響を最小限に留めることができたことは大きく評価できます。倒木などによる停電の復旧が困難な中で、一部の自治会では、保有する発電機を提供して、行政とともに電源の確保の一助に貢献したことが報告されています。以前から行政と市民活動団体との協働を期待してきましたが、このような形で本市の市民活動が、実力を発揮した好例です。

市民活動感謝状贈呈制度は、行政が自治会の地道な活動に対し、謝意を表して推薦するという大きな意義を認めることができます。

さらに、今年で8回目を重ねた「市民活動フェスタ」は、市民活動団体の代表により構成された運営委員会の多大な努力によって、盛大に開催されたことを大きく評価し、関係者の皆様に感謝を申し上げます。

環境づくり

市民活動サポートセンター機能の充実

サポートセンターは、7つの機能が充実してきており、市民活動団体の活動の幅が広がったと感じています。

しかしながら、サポートセンターの役割について、PRが不足しているように思えますので、更に、広く周知し、市民が有効利用できる場所になるように努めていただきたいです。

地域づくり協議会などの地域ネットワークの促進

「まちづくり協議会」のリーダー意見交換会が実施され、それぞれの地域での活動紹介や、市職員を交えてのワークショップなども開催されたことは、一歩前進したと感じていますので、継続していくことを望みます。

地域づくり協議会が、地域づくりの多様な活動の受皿となるとともに、多様な活動を生み出す役割を果たすことを期待します。



市では、平成23年度から「市協働のまちづくり推進計画」に基づき、市民・地縁による団体・市民活動団体・事業者と市によるまちづくりを進めています。平成28年度から5か年計画で進めている「後期実行計画」について、富里市協働のまちづくり推進委員会から、取り組み状況についての意見のとりまとめがありましたので、主な内容をお知らせします。

※紙面の都合上、意見は抜粋して掲載してあります。



担い手づくり

市民活動感謝状贈呈制度の運用

令和元年度は、行政からの推薦が多くあり、関係する活動団体に喜んでいただくことができました。

この「市民活動感謝状制度」は、市民活動団体の励みとなりますので、広く周知をして、市民が市民活動に興味・関心を持っていただき、市民活動の活性化へと繋がることを願います。

情報の提供・共有

活動事例の紹介

団体の活動を紹介することは、活動する側の励みとなり、また市民が活動の状況などを理解する上で、大変重要なことだと思いますので、継続していただきたいと思います。活動事例の紹介に当たっては、市民が市民活動に関心を持てるように、わかりやすく紹介するように心がけてください。

とみさと市民活動フェスタの開催

市民活動フェスタは、市民活動団体自らが、市民に直接、活動を紹介できる機会であり、市民活動団体同士の情報交換の場となる貴重な機会でありますので、継続していただきたいと思います。

市民活動団体やフェスタ企画運営委員等と協議をして、来場者が更に、市民活動に関心を持っていただくように検討していただきたいと思います。

市政への参画

市政への参画機会の拡充

市政に参画する機会は多いと思いますが、過去の実績を見ても、参加者が少ないのが現状だと思います。

新たに住民となられた方の参加や、外国人の市政への参画の機会も取り入れていくとよいと思います。

意見の述べやすい会場づくりと雰囲気づくりに取り組むとよいのではないのでしょうか。

市の体制について

市職員研修の実施

外部、専門家の講師による研修は、基礎知識から実践まで、職員の資質の向上が図れるよう、繰り返し研修することが大事だと思いますので、継続をお願いします。